様式３（2020.08改）

作成日　令和3年3月30日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100596
事業所名	グループホーム　こころ岡崎

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	ホームの3周年記念イベントに近所の人が気軽に参加し、地域との一体感がうかがえる。職員も積極的に地域の付き合いを深める働きかけを行い、地域の人との繋がりを大切にしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	密集を避けるため、対面での開催を自粛し、書面や電話でのやり取りで意見交換を行い、運営に活かすよう努めている。今後は地元の市議会議員にも出席を依頼し、地域の高齢者の状況を伝える活動を行う予定である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市内のグループホーム会議で、市と情報交換を行っている。また、不明な点は電話やメールで問い合わせを行うか、直接市役所に出向いて確認し、気軽に相談出来る関係性を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	新型コロナウイルス感染防止の為、止むを得ず面会制限を行っている。家族からは利用者と一緒に外出をしたいという要望が多く寄せられ、実現に向けて検討中である。家族からの要望等には真摯に向き合い、応えられるように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

運営推進会議は、コロナ禍の中、書面開催となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										